

学習・教育の改革と進化

— 学習者中心の教育を目指して —

社会、経済、文化などの様々な面で国際的流動化の進む現代では、既存の知識や技術では対処できない諸課題が生じており、これに対応するために新たな知を創造し、社会を改革することが求められています。大学教育においては、幅広い視野と専門的能力を併せもってグローバル化時代を開拓できる人材の育成がますます重要になっています。

九州工業大学では、1909年の開学以来、一貫して時代をリードする技術者の養成を行ってきました。特に近年は、学部・大学院において先導的な教育研究として数多くのプログラムが文部科学省等に採択され取り組んできました。学習教育センターは、本学における各組織の教育活動及び学習環境の改善に関する取り組みを支援し、これらの活動相互の連携を図りつつ学習教育の充実に資することを目的として、2011年4月に設立されました。設立以来「創造する個」と「グローバル人材」の養成を柱に、学生が主体的に学び、グローバルに活躍する技術者としての能力を身につけることができるような学部・大学院教育の改革を推進しています。

現在では「社会と協働する教育研究のインタラクティブ化加速パッケージ～技術者のグローバルコンピテンシー獲得へ～」(平成25年度国立大学改革強化推進補助金)が採択され、技術者のためのグローバルコンピテンシーの養成教育として、次の3つの“C”に注目して教育改革を進めています。技術者のためのグローバルコンピテンシー(GCE: Global Competency for Engineer)の作成・評価・可視化、このGCEを育成するための国際通用性のある全学教育カリキュラムとサーキット型教育プログラムの開発及び実施(Global Circuit Learning)、及びこれらの学びを支援する複合的学習環境(Learning Complex)の整備です。

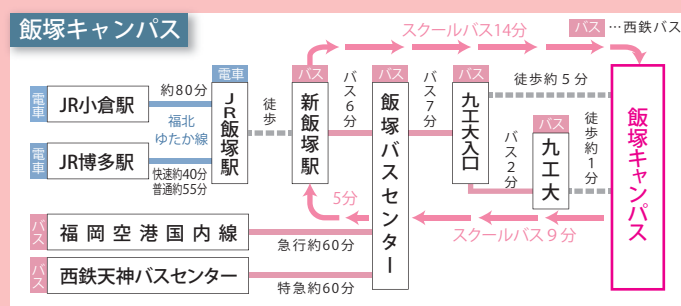
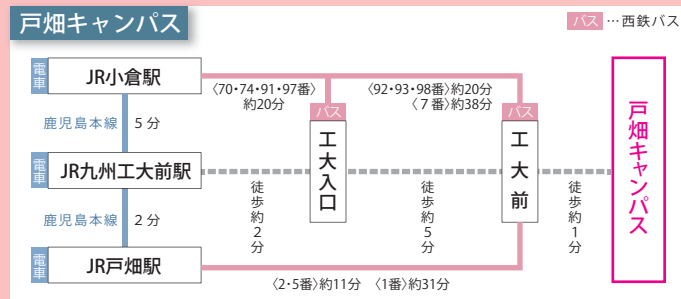
当センターは、学習支援部門、教育・FD支援部門、ICT支援部門、グローバル・ラーニング支援部門の4部門で構成されています。4部門はそれぞれ、学習者視点に立った学習支援、教育改善等の支援、ICTを用いた学習・教育支援、およびグローバル教育の推進を担当し、教育高度化推進機構による大学教育改革の推進・支援機関としての役割を担っています。センターの活動は、随時Webページ等を通じて公表しております。また、定期的に学習・教育に関するフォーラムやシンポジウムを開催して、皆様方と交流させていただきたいと考えていますので、ご指導、ご協力ならびにご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



学習教育センター長 坂本 寛

● Access & Contact ●

九州工業大学



■ 戸畑キャンパス(学習教育センター事務室)
〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1
TEL 093-884-3249

■ 飯塚キャンパス(学習教育センター飯塚事務室)
〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4
TEL 0948-29-7576 FAX 0948-29-7579

国立大学法人 九州工業大学 LTC 学習教育センター

Learning and Teaching Center



学習教育センター Learning and Teaching Center

学習教育センターは、九州工業大学教育企画室と連携し、九州工業大学における各組織の教育活動及び学習環境の改善に関する取り組みを支援し、これらの活動相互の連携を図り、本学の学習教育の充実に資することを目的としています。

● 四つの部門により、構成されています。

学習支援部門、教育・FD 支援部門、ICT 支援部門、グローバル・ラーニング支援部門の四部門から構成され、相互に連携して業務を行います。

学 習 支援部門

支援内容

- 1 学修自己評価に関する支援
- 2 学習改善に関する取組相互の連携支援
- 3 その他学生の主体的な学習活動に関する支援



学習支援部門では、学生の学修意識の改革と修学力の育成に資する取組や活動の支援を行うとともに、これら取組や活動を効果的に促すための教学関連情報システムの整備を行います。学習支援活動の好事例を全学的な活動として展開するための体制の整備や、学修ポートフォリオシステムをはじめとする教学関連情報システムの機能の改善、その効果的な活用方法の開発など、本学教育システムを継続的に進化発展させる取組を実施します。

主な取組 学修自己評価システム、学習支援室、学習コンシェルジュ

教育・F D 支援部門

支援内容

- 1 組織的なFD活動の推進・支援
- 2 教育プロジェクトの連携支援
- 3 教員による教育改善及び教育実践に関する支援



教育・FD 支援部門では、教職員に対して学部および大学院の教育に関する支援を行います。学内外でFD/SD活動に関する情報を収集・提供するとともに、各部局の活動と連携してセミナーやワークショップを全学に公開して開催します。その成果を全学で共有するとともに、各教育プロジェクトと連携して、教育支援活動に関わる成果を学内外に発信します。

主な取組 FDセミナー、インタラクティブ学習施設 (MILAiS など)、デザイン工房、
A L S A ーアルサー Active Learning Student Assistant

● 次に掲げる業務を支援しています。

- 1 教育企画室が策定する教育企画・計画等の実施に関すること。
- 2 教育活動及び学習環境等の改善に係る取組の支援に関すること。
- 3 各組織の教育活動及び学習環境等の改善に係る取組相互の連携・連絡調整に関すること。
- 4 e-ラーニングに関すること。
- 5 学習及び教育活動の環境整備に関すること。
- 6 グローバル教育プログラムに関すること。
- 7 その他学習支援及び教育支援に関すること。

ICT 支援部門

支援内容

- 1 学習基盤システムの研究開発および構築
- 2 e-ラーニングの支援
- 3 その他教員による教育改善及び教育実践に関する支援
- 4 学習及び教育活動並びに学習教育センターの活動に関する情報の収集・発信



ICT 支援部門では、主体的な学習をおこなう学生や、質の高い講義をおこなう教員を支援するため、ICTを活用した学習・教育システムを提供します。また、ICTを活用した教材や教育機器に関する情報を収集・紹介し、その活用を支援します。遠隔講義や自主学習環境など、学習・教育のための基盤となる環境を、大学府や学部、技術部、情報基盤室、情報科学センター、附属図書館等と連携しながら整備していきます。

主な取組 学習支援システム (LMS) 運営、講義配信支援、教材作成支援

グローバル・ ラーニング 支援部門

支援内容

- 1 グローバル教育プログラムの開発及び構築
- 2 グローバル教育プログラムの支援・実施
- 3 グローバル教育の環境整備



グローバル・ラーニング支援部門は、技術者のためのグローバルコンピテンシー (GCE) に必要な学習・教育を支援するため、平成 26 年度、学習教育センターに新たに設置されました。海外派遣プログラム用事前・事後教育の実施、達成度評価の支援、留学生との協働学習プログラムの開発と実施、またグローバル教養教育の改革などを支援します。

主な取組 海外派遣に係る事前・事後教育、派遣・受入教育プログラム支援、GCE 可視化支援